

## 1. ごあいさつ



これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムが今地球環境問題という大きな困難に直面し、環境負荷の増大、資源の枯渇などが人類の生存基盤さえも危うくしています。

発展の歩みを環境に配慮した持続可能なものにし、後世の子どもたちに豊かな未来を約束するためには、私たち一人ひとりが自らの生活を見直すとともに、様々な主体が協働して問題解決に取り組んでいくことが求められています。

この「アジェンダ21すいた」は、1992年の地球サミット（環境と開発に関する国連会議）で採択された「アジェンダ21」に謳われている「ローカルアジェンダ21」の吹田市版として、地域社会全体が環境の面からまちづくりに取り組み、持続可能な社会の実現を目指した行動計画です。

計画策定にあたっては、市民・事業者・行政で構成される「アジェンダ21すいた策定会議」を立ち上げ、平日の夜間を中心に、精力的に計画づくりを進めていただきました。

委員の皆様のこれまでの計画づくりに対する熱心な取り組みは、まさにこれからの市民が主役のまちづくりへの一つの道筋を示すものであると感じます。

今後は、いよいよ計画を推進する段階に入ります。持続可能な社会を実現するためにも、この計画に対する皆様のご理解・ご協力、積極的な参加・参画をお願いいたします。

最後になりましたが、「アジェンダ21すいた策定会議」委員の皆様をはじめ、計画策定に関わっていただきました多くの皆様方に心からお礼申し上げます。

平成17年（2005年）3月

吹田市長 阪口善雄